



## 2023年度まちづくり協議会定期総会が開催されました

2023(令和5)年5月16日(火)、壬生野地域まちづくり協議会の定期総会が開催されました。過去三年間は、コロナ禍のなか参加人数を縮小して開催しておりましたが、本年度は来賓ご臨席のもと通常体制で開催しました。総会に提出された令和4年度事業報告・収支決算報告並びに会計監査報告、令和5年度役員承認、及び令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)の議案はすべて可決されました。



あいさつ

会長 落合 敏之

引き続き、壬生野地域まちづくり協議会の会長を務めさせていただきます。5年前に新しいまちづくり計画が策定され、その計画に基づいて、誰もが住みよきと感じるまちづくりの実現を目指して取組みを進めてこられました。私もその先輩たちの思いを引き継いでいきたいと思っております。

新型コロナウイルスの感染症も少し落ち着き、コロナと共存する時代がやってきました。コロナ禍で人と人の結びつきが弱くなっています。そのような時代だからこそ、これまで以上に、お互いを知り合い理解し合うことができれば、誰もが住みよきまちづくりに一歩でも近づくのではないのでしょうか。ぜひとも多くの方の参画をお待ちしています。

### 2023(令和5)年度 役員(事務局含む)・監査委員名簿(敬称略)

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	落合 敏之	幹事(山畑区長)	奥 昭 徳
副会長	谷 口 剛	幹事(川東区長)	丸山 正春
副会長	橋 爪 誠	幹事(川西区長)	内山 保和
副会長	中森美加子	幹事(西之澤区長)	田矢 三男
事務局長	居附 秀樹	幹事(希望ヶ丘区長)	早川 崇彦
事務局次長	南出 正博	幹事(川西青葉台区長)	木村 嘉男
会計	藤井 幸子	幹事(春日丘区長)	山舗 政夫
事務局員	山中 洋子	幹事(ヤマギシ会代表)	岡野 充樹
会計監査	金谷 佐清	顧問	金谷 滝男
会計監査	藪田きみ子		



# 壬生野地域まちづくり協議会定期総会の概要

## 【令和4年度事業報告並びに収支決算の概要】

令和4年度は、ウイズコロナの状況において2020年度から取り組みを進めてきた壬生野地域総合防災訓練事業の締めくくりとして、感染時における防災対策を取り入れた訓練を行いました。先進事例研修では、伊勢市の浜郷地区まちづくり協議会を訪問し、小学生のHUGや災害時要支援者の避難訓練など、誰一人取り残さない訓練や災害時における男女共同参画などを拝聴し当協議会においても同様の取り組みを行うべく、コロナ禍における避難所設営に係る訓練を実施しました。

また、当年度から地区市民センターに生涯学習支援員が配置され、再編した7部会のまちづくり活動と連携して、熊野古道健康ウォーキングやニュースポーツ事業の実施、夏休み子ども体験講座、高齢者のスマホ教室など幅広い活動を行いました。また、財政面においても地域包括交付金が減少しているなか、補助事業の導入や歳出予算の抑制を行うとともに備品購入基金を積立てました。



(総会での議案審議)



(新役員の紹介)

## 【令和5年度事業計画並びに収支予算の概要】

令和5年度は、昨年再編した7部会の事業をより充実させるため、運営委員会で各種事業計画の協議を密にするとともに、3つの実行委員会を設けて重点事業の取り組みを進めてまいります。

実行委員会は、①「壬生野歴史文化継承事業実行委員会」として特色ある自然や名勝、歴史文化や風習などを掘り起こし、地域の魅力を再発見し後世に継承すると同時に誘客活動に繋がります。

②「壬生野地域総合防災訓練事業実行委員会」として、2020年から3年間取り組んできた防災訓練事業を今後も継続して行うこととして、新たに作成した安否確認シートを使用した避難訓練や災害対策本部会議の訓練を行うとともに防災マニュアル(自主防災組織編)を追加編集いたします。

③「地域まちづくり計画策定実行委員会」として、地区市民センターの指定管理やアフターコロナにおける地域コミュニティのあり方など、社会情勢の変化や住民のニーズに即応したまちづくり計画の更新を行うとともに、当協議会の運営に係る財政計画の検討を進めます。

《事務局長 居附 秀樹》

## 2023(令和5)年度 各部会役員名簿(敬称略)

部会名	部会長	副部会長	書記
地域安全部会	丸山 正春	田矢 三男	宮田 清孝
人権・男女共同参画部会	山本 眞司	平地 照夫	深田 浩之
生活・環境保全部会	福西 高英	奥井 正昭	澤 秀 司
健康福祉部会	山岡 豊	清水 貞喜	藤井 幸子
産業振興・交流部会	北出 茂樹	福西 重嗣	界外 貞男
教育文化・スポーツ部会	川原出博久	落合 洋人	福森 和子
壬生野若者会議	藤島 順哉	藪 田 誠	福島 進也

\*総会資料は壬生野地域各自治会にて組回覧しています。また、壬生野地域まちづくり協議会のホームページからもご覧いただけます。

# 「人権フォトコンテスト」の作品を募集します

平和や命の尊さを再確認するとともに、あらゆる差別をなくし、誰もが大切にされ、自由に自分らしく生きることや自分の夢を実現できる社会の実現を目指して、心が温まる写真を募集します。ご応募頂いた作品は、本年度の“壬生野まつり”に無記名で展示して来場者の投票により入賞・入選作品を決定します。カメラや写真に詳しくない方でも携帯電話やデジタルカメラで撮った写真を係まで電子メールで送信して頂くだけで結構です。印刷や額に入れて頂く必要はありませんのでお気軽にご応募下さい。

主 催 壬生野地域まちづくり協議会 人権・男女共同参画部会

応募対象 壬生野地域に在住、在勤の方

応募詳細

- ・白黒、カラーいずれも可とします。
- ・携帯電話、デジタルカメラ等で撮影した写真をデータで送信下さい。
- ・加筆修正、レタッチ等編集は不可とします。
- ・組写真は不可とします。(複数の写真でひとつの作品としたもの)

応募方法 題名・撮影年月・簡単な説明、撮影者の名前(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を記載し、電子メールに添付のうえ応募するものとします。  
(壬生野地域以外にお住まいの方は、勤務先の名称・所在地など壬生野地域に在勤していることがわかることを明記願います。)

副 賞 等 大賞：1点、 優秀賞：3点、 入選：6点、 参加賞：応募者全員  
おひとり複数応募頂いた場合でも参加賞は1つとさせていただきます。  
また、入賞・入選された方には参加賞はありません。

作品活用 応募作品は、啓発資料として広く活用させていただきます。(入賞・入選作品の  
パネル化・展示、壬生野地域まちづくり協議会ホームページへの掲載等)

肖像権 被写体(人物等)を撮影する際の肖像権等については、応募者(撮影者)の  
判断において許諾を得てください。肖像権等に関する問題が発生した場合の  
全ての責任は応募者にあり、主催者は紛争解決にいささかも関わりません。

そ の 他

- ・自作未発表のものに限ります。
- ・公序良俗に反する作品は、応募を失格とさせていただきます。
- ・応募作品は原則として返却しません。
- ・作品の著作権は撮影者に帰属しますが入賞・入選作品を使用する権利は主催者が保有するものとします。
- ・発表時に匿名を希望される方は、応募時にその旨を明記してください。

応募期間 2023(令和5)年6月1日(木)～9月30日(土)

応募先等 〒519-1424 伊賀市川東 4539-4  
壬生野地域まちづくり協議会「人権フォトコンテスト」係  
☎ 0595-45-8900 📠 0595-45-8901

E-mail : [mibuno-tokimeki@ict.jp](mailto:mibuno-tokimeki@ict.jp)

# まちづくり協議会からのお知らせ♪



## ◎当面のスケジュール

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
6月 1日(木)	広報誌等発送日(6月号)	コミュニティ壬生野 206号発行
6月 2日(金)	第1回 地区市民センター長会議	伊賀支所会議室
6月 4日(日)	壬生野地域環境美化活動(いがまち環境美化デー)	壬生野地域全域(生活・環境保全部会)
6月 5日(月)	第3回 三役会議 13:30~	壬生野地区市民センター
6月 7日(水)	第2回 運営委員会(終了後、第3回役員会)	壬生野地区市民センター
6月10日(土)	地域探訪フィールドワーク(西之澤編)	西之澤ふれあい広場 13:00 集合
6月13日(火)	児童による田植え体験	壬生野小学校連携(産業振興・交流部会)
6月15日(木)	ノハナショウブ観察会	壬生野小学校連携(教育文化・スポーツ部会)
6月16日(金)	いきいき園芸教室① 13:30~	伊賀の里育ち(川東)
6月16日(金)	ナイトヨガ教室① 19:30~	西柘植地区市民センターホール
6月16日(金)	第3回 教育文化・スポーツ部会 19:30~	壬生野地区市民センター
6月21日(水)	第1回 歴史文化継承事業実行委員会 19:30~	壬生野地区市民センター
6月28日(水)	第1回 総合防災訓練事業実行委員会 19:30~	壬生野地区市民センター
6月30日(金)	広報誌等発送日(7月号)	コミュニティ壬生野 207号発行
7月 1日(土)	健康体操(介護予防) 健康福祉部会主催	壬生野地区市民センター
7月 5日(水)	第2回 地域自治推進会議	伊賀支所会議室
7月 7日(金)	第4回 三役会議 13:30~	壬生野地区市民センター
7月11日(火)	第4回 役員会 19:30~	壬生野地区市民センター

## おもちゃのジェンダーフリーって何だ? 《人権コラム》

子どもたちが性別にとらわれることなく、好きなおもちゃで遊ぶことができるよう、おもちゃメーカーの「ジェンダー」に対する取り組みが始まっています。大人は、男の子だから乗り物や恐竜が好きだろう、女の子だからお人形やおままごとが好きだろう、と勝手に解釈し、おもちゃを与えてしまうことがあります。

しかし、近年、おもちゃ業界では子どもたちが性別の枠にとらわれずに、自由に好きなおもちゃで遊ぶことができるジェンダーフリーな商品開発や取り組みが行われています。

2021年10月、アメリカのカリフォルニア州で、従業員500人以上の大規模小売店に対して「性別の明記のないおもちゃ売り場の設置を義務付ける」という法律が成立しました。この法律は、子ども商品のジェンダーバイアス(性差に対する固定概念や偏見)に対処することを目的としています。

そんな世界の流れに追随するように、日本のおもちゃ業界も変わってきています。日本玩具協会が毎年主催している「日本おもちゃ大賞」では、2021年から「ボーイズ部門/ガールズ部門」の区分けが撤廃されました。そして各おもちゃメーカーでも、性別の枠にとらわれずに遊べる商品開発や取り組みが行われ、子どもたちの心をつかんでいます。

《人権・男女共同参画部会》

◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◇  
 壬生野地域まちづくり協議会事務局 TEL:45-8900

